

<整形外科・外傷センター>

一般（教育）目標

整形外科で治療する運動疾患を理解し、診断・治療に関する基礎知識を学ぶ

（具体的）行動目標

- (1) 運動器疾患について適切な病歴を聴取し医療記録を作成できる能力を習得する
- (2) 運動疾患について正確な診断・治療をするための基本手技（創縫合、関節穿刺、仙骨硬膜外ブロック、神経根ブロック・ミエログラフィー・腱鞘内注射・脱臼整復・ギプス、シーネ固定など）
- (3) 整形外科の救急医療・外傷疾患に関する基礎知識を習得する
- (4) 整形外科の慢性疾患に関する基礎知識を習得する
- (5) 全身病に伴う運動器疾患に対する理解を深める
- (6) 運動器疾患の画像診断に関して学ぶ
- (7) 手術時における基本的な清潔操作・縫合手技を習得する
- (8) 以下の手技を理解し、上級医の指導のもと、術者、助手を担当する
 - (ア) 抜釘術
 - (イ) 骨折に対する観血的整復内固定術
 - (ウ) 人工骨頭置換術（股関節）
 - (エ) 腱縫合術（アキレス腱断裂など）

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。また、上級医の指導のもと救急外来患者の診断、処置、治療を行う
- (2) 部長回診に参加し症例の提示を行う
- (3) 手術に参加し上級医の指導により術者・助手を経験する

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 外来カンファレンス・手術カンファレンスに参加し症例提示を行う
- (2) 学会に参加し症例報告を行う

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど（本院）

	月	火	水	木	金
午前	病棟処置	病棟処置	病棟処置	病棟処置	手術・病棟処置
午後	病棟処置	病棟処置	回診・カンファレンス	病棟処置	手術・病棟処置

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇄指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること